



公共施設の未来を考えよう！

稲川地域の公共施設に関するアンケート調査

湯沢市では、人口減少や少子高齢化に伴い市民ニーズが変化する中で、過去に整備してきた公共施設等の老朽化が進み、現在の施設を今後どのようにしていくかが大きな課題となっています。

平成 29 年 2 月には市全体を経営的な視点で捉え、公共施設等の総合的な管理を推進するため、「湯沢市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

現在は、個々の施設の方向性についてどのようにしていくか、具体的に示す「個別施設ごとの再編計画」の策定を進めています。

個別施設ごとの再編計画策定に向けた検討に当たっては、様々な立場や世代、地域の方々からご意見を伺うことが重要と考え、地域別（旧市町村別）にアンケート調査を実施することとしました。

また、公共施設が抱える主な課題や今後の方針についてまとめたパンフレットを同封しております。ぜひご覧いただき、アンケート調査への回答にご協力くださいますようお願いいたします。

湯沢市長 鈴木 俊夫

◆調査票についてご留意いただきたい事項◆

●本アンケート調査は、平成 30 年 6 月 1 日現在、湯沢市にお住まいの 15 歳以上の方の中から、無作為に抽出したほか、「湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進条例」により、若者の抽出者数を補正し、湯沢市全体（4 地域合計）で 3,200 人の方々に送付しています。

（湯沢地域 825 人、稲川地域 817 人、雄勝地域 808 人、皆瀬地域 750 人）

●氏名や住所を記入する必要はありません。また、回答結果は統計的に処理するため、記入者が特定されることはありません。

●ご本人様のご病気・長期不在などで回答できない場合は、代理の方が記入してください。



湯沢市観光PRキャラクター
こまちちゃん

ご回答期限

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて平成 30 年 8 月 29 日（水）までにポストに投函してください。（切手や差出人記名は不要です。）

《問い合わせ先》

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

湯沢市 総務部 企画課 企画政策班 電話 0183-73-2113

FAX 0183-73-2117 Eメール kikaku@city.yuzawa.lg.jp



あなた自身のことについておたずねします

《問1》 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

① 男性	② 女性
------	------

《問2》 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

① 15～19歳	② 20～29歳	③ 30～39歳	④ 40～49歳
⑤ 50～59歳	⑥ 60～69歳	⑦ 70歳以上	

《問3》 お住まいの地区を教えてください。(○は1つ)

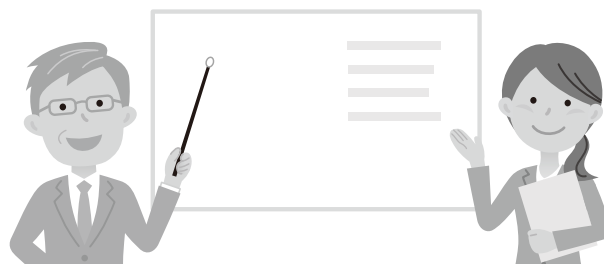
① 稲庭	② 三梨
③ 川連	④ 駒形



公共施設のことについておたずねします

《問4》 公共施設の再編を含めて、市政に関する情報を得る方法は、どれが多いですか。(○は3つまで)

① 市のホームページ	② 市の広報紙	③ 市からの郵便物
④ 市職員からの説明会	⑤ 市のアンケート調査	
⑥ 市への直接の問い合わせ・情報公開請求		⑦ 市議会議員からの説明
⑧ 市公式サイト以外のネット情報		⑨ SNS
⑩ 新聞	⑪ ラジオ	⑫ □コミ
⑬ その他 ()		



《問5》あなたは、稲川地域に下記の施設があることを知っていますか。
 知っている施設がある場合、番号すべてに○をしてください。
 (1つでも○をした方は5 - 1、5 - 2にご回答ください。)

① 集会施設	稲川生涯学習センター、稲川勤労青少年ホーム、老人憩の家など
② 社会教育・文化施設	稲川カルチャーセンター
③ スポーツ施設	稲川体育館、稲川野球場、稲川交流スポーツエリアなど
④ 観光・レクリエーション系施設	稲庭城など
⑤ 子育て支援施設	放課後児童クラブ
⑥ 学校教育系施設	小学校、中学校
⑦ 行政系施設	市役所総合支所
⑧ 産業系施設	川連漆器伝統工芸館、産業支援センターなど

《5 - 1》問5で○をした施設についてお聞きします。

過去1年間にどんな利用目的でどの程度利用しましたか？(○は1つ)

	A 月に1回以上	B 年に数回程度	C 年に1回以下	D 1回も利用したことがない	A・Bに○をした方はその利用目的(簡単に記述してください)
① 集会施設					
② 社会教育・文化施設					
③ スポーツ施設					
④ 観光・レクリエーション系施設					
⑤ 子育て支援施設					
⑥ 学校教育系施設					
⑦ 行政系施設					
⑧ 産業系施設					

《5 - 2》5 - 1でC(年に1回以下)やD(1回も利用したことがない)に○をされた方にお聞きします。どう理由で利用が少なかったのですか？(○は1つ)

	A 利用する必要がない	B 類似の民間施設や他市町村の施設を利用している	C 開館時間が合わない	D 施設の使用料が高い	E その他(理由を記述してください)
① 集会施設					
② 社会教育・文化施設					
③ スポーツ施設					
④ 観光・レクリエーション系施設					
⑤ 子育て支援施設					
⑥ 学校教育系施設					
⑦ 行政系施設					
⑧ 産業系施設					

《問6》 よく利用する公共施設への主な交通手段は何ですか。（○は1つ）

① 徒歩	② 自転車	③ 自家用車
④ 公共交通（バス・電車等）		⑤ 車での送迎（家族・親類など）
⑥ その他（ ）		

《問7》（別紙パンフレットを見て）市が公共施設の再編に取り組んでいることをあなたはご存知ですか。（○は1つ）

① よく知っている	② 多少知っている
③ 聞いたことはあるが、あまり知らない	④ 知らない

《問8》 稲川地域の主な公共施設の管理運営費等は以下のとおりです。こうした実態についてご存知ですか。（○は1つ）

① よく知っている	② 多少知っている
③ 聞いたことはあるが、あまり知らない	④ 知らない

分類	施設名称	建築年	老朽化率 (%)	構造	支出 (千円)			収入 (千円)			差引一般財源 (千円) (市民全体の負担)	
					維持管理経費	維持管理に係る人件費	計	使用料 (利用者負担)	その他	計		(参考) 指定管理者の利用料収入
集会施設	川連老人憩の家	S54	119	鉄骨造	485		485			537	485	
集会施設	三梨老人憩の家	S56	159	木造	6,250		6,250			3	6,250	
集会施設	駒形老人憩の家	S48	195	木造	5,441		5,441			3	5,441	
集会施設	稲庭地区センター (稲川勤労青少年ホーム・稲庭公民館)	S58	68	鉄筋コンクリート	3,963	3,300	7,263	99		99		7,164
集会施設	稲川生涯学習センター (稲川農村環境改善センター・稲川公民館)	S62	58	鉄筋コンクリート	3,379	775	4,154	222		222		3,933
文化施設	稲川カルチャーセンター	H14	32	鉄筋鉄骨コンクリート	4,693	4,559	9,252					9,252
スポーツ施設	稲川体育館	S55	109	鉄骨造	3,608	8,000	11,608	647	108	755		10,853
スポーツ施設	稲川交流スポーツエリア	H7	62	鉄骨造	6,701		6,701		108	108	1,344	6,593
レクリエーション施設・観光施設	稲庭城	H1	57	鉄筋コンクリート	6,640		6,640				2,932	6,640
産業系施設	産業支援センター	S57	89	鉄筋コンクリート	2,749	4,765	7,514	219	27	246		7,269
学校	稲川中学校	S49	89	鉄筋コンクリート	9,844	10,117	19,961					19,961
庁舎等	湯沢市役所 稲川庁舎	S53	76	鉄筋コンクリート	19,856	4,000	23,856	599	2,109	2,708		21,148

※利用状況やコスト等は、原則としてH27・H28の2ヵ年平均で算出しています。
 老朽化率は耐用年数に対する経過年数の割合です。(H29.4.1現在で算出)
 ⇒老朽化率が100%に到達すると、一般的に更新する時期が到来していると言えます。
 本データは今後更新する場合があります。

《問9》 今後、 少子高齢化が進展し、 人口と税収の減少が見込まれる中、 すべての公共施設をこれまで同様に維持していくことは、 非常に厳しい状況です。 主な公共施設の管理運営費等を見たうえで、 今後どのようにしていくことが望ましいと考えますか。（○は1つ）

①	公共施設の量はまだ不足しているので、借金をしてでも施設を増やすべき
②	今ある公共施設はすべて必要なので、他の行政サービスを廃止・縮小してでも、現状の施設を維持すべき
③	公共施設の必要性を見直し、人口や税収など身の丈にあった公共施設の質・量にするべき
④	必要性の低い公共施設については、積極的に複合化（異なる機能をもつ施設を一つの建物にまとめること）や集約化（同じ機能をもつ施設を一つに統合すること）などを進めるべき
⑤	近隣市町村や国・県、民間企業と連携を進めながら、公共施設の量を減らしていくべき
⑥	その他（ ）

《問10》 稲川地域で将来にわたり、優先的に残すべきと考える公共施設は何ですか。（3つまで）
また、その施設を選んだ理由を教えてください。

①	集会施設	稲川生涯学習センター、稲川勤労青少年ホーム、老人憩の家など
②	社会教育・文化施設	稲川カルチャーセンター
③	スポーツ施設	稲川体育館、稲川野球場、稲川交流スポーツエリアなど
④	観光・レクリエーション系施設	稲庭城など
⑤	子育て支援施設	放課後児童クラブ
⑥	学校教育系施設	小学校、中学校
⑦	行政系施設	市役所総合支所
⑧	産業系施設	川連漆器伝統工芸館、産業支援センターなど
⑨	市営住宅	

優先的に残すべきと考える施設の番号（①～⑨）とその理由

番号	理由

《問 11》 どうしても現状の公共施設を維持できない場合、施設を減らすことの検討も想定されます。どうしても施設を減らさなければならなくなった場合、稲川地域で将来的に廃止してもやむを得ないと考える施設は何ですか。
 (3つまで)
 また、その施設を選んだ理由を教えてください。

① 集会施設	稲川生涯学習センター、稲川勤労青少年ホーム、老人憩の家など
② 社会教育・文化施設	稲川カルチャーセンター
③ スポーツ施設	稲川体育館、稲川野球場、稲川交流スポーツエリアなど
④ 観光・レクリエーション系施設	稲庭城など
⑤ 子育て支援施設	放課後児童クラブ
⑥ 学校教育系施設	小学校、中学校
⑦ 行政系施設	市役所総合支所
⑧ 産業系施設	川連漆器伝統工芸館、産業支援センターなど
⑨ 市営住宅	

将来的に廃止してもやむを得ないと考える施設の番号(①～⑨)とその理由

番号	理由

《問 12》 公共施設が減ることになった場合、どのようなことに不安を感じますか。
 (○は1つ)

① 距離が遠くなることによる施設への交通手段の確保
② 混雑による利用したい時間帯の利用の制限
③ 駐車場の十分な確保
④ 複合化など様々な機能が入ることにより使いにくくなる(分かりにくい)
⑤ 不安はない
⑥ その他 ()

